

令和4年度第1回南房総市地域公共交通活性化協議会

(兼地域公共交通会議) 議事要旨

日 時: 令和4年5月26日(木) 15:50~16:50

場 所: 南房総市三芳農村環境改善センター2階 大会議室

参 加 者: 委員22名(別添委員名簿参照、3名欠席)

: 南房総市 総務部長・企画財政課長・同課長補佐・同地域振興係長及び係員

議 事:

1. **【協議第1号】 役員を選出について**

委員の互選により、会長に南房総市副市長 嶋田守委員、副会長に有限会社白浜タクシー代表取締役 平野直委員、監事に安房道の駅連絡会会長 鈴木賢二委員、ジェイアールバス関東(株)館山支店長 竜崎広幸委員が選出された。

2. **【協議第2号】 協議会規約の一部改正について**

今回の協議会規約の改正については、各機関より地域に近い部局へその役割を一任すること、役職の退任や人事異動に伴う辞退の申し出があったことに伴う改正となります。

別表第1の法第6条第2項第2号委員のうち「一般社団法人千葉県トラック協会」について、法第6条第2項第3号委員のうち、「国土交通省関東運輸局交通政策部交通企画課」、「国土交通省関東運輸局自動車交通部旅客第一課」、「千葉県警察本部交通部交通規制課」について、削除とする。

質疑等なし

⇒承認済み

3. **【協議第3号】 令和3年度協議会事業報告について**

事務局より、令和3年度協議会事業報告として、2回の協議会開催状況、事業計画の①南房総市地域公共交通計画策定について、②南房総・館山地域公共交通活性化協議会について、③広報活動について資料により説明があった。また、協議会決算について、収入及び支出が無かった旨の報告がされた。

質疑等なし

⇒承認済み

4. **【協議第4号】 令和4年度協議会事業計画(案)について**

事務局より、①市営路線バスの運行方法の検討について、②南房総・館山地域公共交通活性化協議会について、③その他(広報誌などによる公共交通に関する情報発信)について、今年度の主な事業計画として提案された。また、令和4年度予算については、現段階で、収入及び支出の予定が無い旨が報告された。

質疑等なし

⇒承認済み

5. **【協議第5号】市営路線バス富浦線の実証運行について**

事務局より、市営路線バス富浦線の実証運行について提案があった。

市営路線バス富浦線の運行について、3つのご提案を行う。

市営路線バス富浦線の概要ですが、富浦地区の八東地域を中心に交通空白地域を運行し、平日は、スクールバスの機能を持ち合わせ、土休日は観光施設等を循環するバスタくんとして運行している市営路線バスで、昨年の利用者実績は942人。

提案の一つ目は、お買い物需要の検証のため、商業施設への運行ルートの実証運行について検証を行うもの。現在、富浦地区には生鮮食品を取り扱うスーパーが存在せず、食品類の購買に隣エリアの店舗まで自家用車で訪れているのが現状。そのため、自家用車を持たない住民は、宅配や乗り合い等で過ごしている。そこで、隣市のスーパー等まで富浦線の延長によりお買い物需要を確認するため、実証運行を行うもの。

2か所の行き先を候補とし、一つ目の行き先としては、カインズ館山店。こちらは、日用品などを販売している大型店舗だが、近隣には、生鮮食品を扱うスーパー、ドラッグストアや衣料品販売店などがある。また、来週6月1日からスタートする館山市の循環バスも乗り入れることとなっており、駐車場スペースも含め比較的施設側にも受け入れやすい環境が整っていると思われる。更に館山市でのこれまでの実証運行でも利用者が他の停留所より多い結果も出ている。ルートについては、平日の第1便のみ設定。第1便のルートを時刻通り運行後、元気倶楽部の8時49分発、デマンド運行で大房岬に行く場合は、9時10分に出発し、国道127号館山バイパスを通り、カインズ館山店を目指す。

(この提案①資料の図面では、緑の点線にて示している) 予定時刻では、カインズ館山店には、9時過ぎから9時25分頃までに到着する。その後、出発時刻を何れも10時とし、同じルートで帰路につく。元気倶楽部に概ね10時15分頃の到着となるが、ご利用のお客様には、第2便の始発時刻10時45分までの間に各停留所にて降車対応することを予定している。

二つ目の行き先としては、おどや船形店。こちらは、生鮮食品等を取り扱うスーパーだが、駐車場が広くなくバスの乗り入れが難しい状況がある。そこで、乗降場所については、館山市内線のバス停が100mほどの距離間にあるのでそちらを利用する。ルートについては、カインズ館山店行きと同様に平日第1便のみこれまでの通常ルートを運行後、元気倶楽部を起点におどや船形店に向かう。(この資料の図面では、那古船形駅前を通るルートを緑の点線で示している) 所要時間は、店舗での最低30分を確保することを念頭に、帰りの時間を設定する。利用者の帰りのルートは、先ほどと同様になる。なお、那古船形駅前までの富浦地区側からの道が狭いため、別ルートとして、旧国道の県道302号線の運行について、日東交通様のご理解が得られれば検討や変更していく。

また、運行に関する確認事項では、富浦地区外を運行する場合は、乗降場所の確保や路線延長の趣旨から目的地以外の乗降はできないこととする。運賃については、通常運賃の大人1回200円のままとし、小学生は1回100円、小学生未満は無料とする。運行日については、平日のみのデマンド運行として設定したい。(資料では週3日となっているがここで改めて事務局案を提案) お買い物便は週4日の設定とし、提案しました2か所を週2回ずつの運行としたい。例えば、「月・火は、カインズ館山店、木・金はおどや船形店、水曜日は設定なし」というようなイメージ。どちらの需要があるのか、アンケート等で推計を見守っていく。

今後のスケジュールは、本日の交通会議ののち、館山市域を運行するため、館山市の公共交通会議にも提出する。そのほか、行政区などの説明と並行し、千葉運輸支局へ変更申請を行い、今年10月からの実証運行スタートを目指すスケジュールとしている。

次ページの提案2では、今回の実証運行のタイミングにあわせ、新たな運行ルートを設定するもの。

現在、平日の第1便、第2便については、デマンド運行により大房岬まで運行している。そこで、帰りのルートとして富浦町多田良地区の北浜通りを運行しようとするもの。こちらは、富浦線エリア内の交通空白地帯でもあり、商店が1件もない通りとなっているため、今回のお買い物便に合わせ実証運行しようとするもの。

運行に関する確認事項としては、図面では大房岬から元気倶楽部又は駅へ行く際に新たなルートを運行するもの。時刻については、平日の第1便、第2便のみデマンド運行とし、土休日については、循環運行のルートに含め、デマンド対応に設定する。

次ページの提案3では、「土休日のバスタくんの運行」について、この2年間の需要がなかった第7便を、時刻をそのままとしたデマンド対応に切り替えるもの。こちらのダイヤは、特に冬季は暗くなってからの運行となり、利用者がほとんどいない状況となっているので、今回のタイミングで変更しようとするもの。

質疑等

◎運賃200円について、往復で1回なのか、行きと帰りそれぞれ1回なのか。また、子ども運賃が設定されるのか。

⇒運賃は片道1回200円。そのため、往復利用は、400円となる。子供料金は、小学生100円、小学生未満無料は変わらない。

◎自家用有償旅客運送登録の変更となっているが、路線拡大と捉えるが、今回の含め、これまでの収入は市の一般会計の収入なのか、運行管理委託費と会計上で相殺されているのか。

⇒一般会計の収入としている。また、委託費は相殺せず支払っている。

◎お買い物便の設定は地域にとってありがたいので、スーパーでお買い物ができることも合わせて説明を加えていただきたい。また、往復利用以外として帰りのみの利用は可能なのか。

⇒案内チラシなどで説明を加えたい。片道利用は可能としたい。

⇒承認済み

6. **【報告第1号】南房総・館山地域公共交通活性化協議会について**

事務局より、南房総・館山地域公共交通活性化協議会について現況報告。

令和4年度に4つの事業を予定。一つ目は、平群線エリアの実証運行。こちらは、これまで2年間実証運行を行ってきたが、今後の本格運行を見据えたAIオンデマンドシステムを活用したフルオンデマンドバスの実証運行を予定。運行エリアは、平群線の沿線ほか、三芳地区並びに館山市の館野・九重地区の一部を含めたエリアとなる。運行期間は、今年10月からの半年、週5日程度の日中帯の運行を予定し、電話及びスマートフォンアプリを活用した予約制の運行となる。また、エリア外の目的地としてイオンタウン館山及びJR館山駅を設定し、直接目的地に行ける環境を残しつつ、乗車場所を自宅から近いゴミステーションくらいの場所から乗車できるよう取り組む。なお、こちらの事業は、千葉県補助事業「新モビリティサービス導入推進事業補助金」を活用して実証運行に取り組む予定。

次に豊房線の再編として、買い物シャトルサービスの実証運行に取り組む。館山市の豊房地区を中心に、エリアを3つに分け、曜日運行によりイオンタウン館山などを目的地としたお買い物需要の検証を行うもの。当市のエリアでは、館山市に隣接する白浜地区の川下地域、千倉地区の大貫地域などが運行エリアに含まれる。こちらは週1回程度、時間を設定してワゴン車で運行する計画となっている。

次に公共交通空白地対策アドバイザー派遣事業として、アドバイザーを招聘し、地域の懇談会

を開催して意見交換を行うもの。南房総市域では白浜地区などを予定。

最後に、公共交通定額乗車券企画の造成については、南房総市及び館山市、地域の交通事業者と連携し、定額の共通乗車券のようなものを検討、販売に繋げていく。今後、関係者との協議や、意見交換会を行いながら事業設計を行っていく予定。

質疑等なし

⇒承認済み

6. その他

①南房総市地域公共交通計画に係る実施事業別の進捗状況及び評価指標について

⇒各事業に対する2021年度の進捗状況及び評価数値を報告

②委員からの報告等：

◎JR館山駅より近況報告

⇒ゴールデンウィークでは、4月29日は雨だったが、それ以外は日並びが良く、利用状況は昨年と比べると非常に良かった。特急さざなみ号の利用状況は、前年比147%、2018年比は74%。実際のところコロナ前と比べると7割程度の戻りだが、日によっては、自由席から指定席に移動してもらう事象もあった。

⇒鉄道開業150周年。開業イベントが予定されている。千葉支社でも特急さざなみ号は50周年を迎える。こちらにもイベントを予定しているので、その際は、御協力のほど、よろしくお願ひしたい。

⇒6月1日から南房総市及び館山市のJR駅において、窓口営業時間の変更となる。駅社員は巡回方式となる。そのため、各駅にインターホンを設置し、初電から終電まで対応可能となる。また、自動券売機の利用時間についても変更となる。こちらにも初電から終電まで切符やチャージができるようになる。

◎日東交通より近況報告

⇒ゴールデンウィークの高速バスの利用状況ですが、緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発出されていない久しぶりのGWとなったが、昨年比160%、2019年度比では2割から3割減だった。引き続き、感染症対策に気を配りながら運行を行っていく。

◎ジェイアールバス関東より近況報告

⇒ゴールデンウィークのなのはな号は、行動の制限がなかったもので、利用者数は昨年比150%くらい輸送力では65%程度。一昨年と比べると輸送力は5割程度。在来線は、7～8割程度の利用者数。また、洲の崎線の車内に持ち込み、鮮魚を運んでいる。高速線なのはな号でも鮮魚や野菜を運ぶ、貨客混載事業に取り組んでいる。

◎鏡浦タクシー（白浜タクシー）より近況報告

⇒お役様の利用は徐々に回復傾向。2019年比では、1月から3月は6割程度、4月からは7～8割程度の利用状況。営業時間は、22時までの短縮営業となっている。また、燃料費の高騰について影響が出てる。LPガスを利用しているが、一昨年の4月の単価が80円、今現在112円と1.4倍となっている。当社は月間約9,000円、ひと月30万円弱の経費が掛かっている。タクシー事業は景気に左右されやすい業種のため、大変厳しい状況が続いているが、この地域の公共交通の一役の期待に沿えるよう今後も努力してまいりたい。